

このような課題が、 治験・臨床研究の進行を妨げていませんか？

課題

1

CRCのリソース不足や
業務上の制約による

データの入力遅延



CRCのリソース不足や実施医療機関内での作業場所・時間の制約により、データ入力が滞る。

課題

2

遠隔地や
複数の実施医療機関への

移動のコスト



実施医療機関が遠隔地、または複数にまたがる場合、CRCやモニターの移動に伴う交通費などのコスト増大につながっている。

課題

3

多施設共同研究・
医師主導治験×リモート

課題は“環境”



多施設共同研究・医師主導治験においてリモートSDVを実施したいが、実施医療機関ごとに電子カルテシステムが異なるため、閲覧環境の標準化ができない。

これらの現場課題を **SYNOV-R** が解決します！

当社CRC
が支援

リモートデータ入力支援※

- ✓ データ入力をリモートで補完し、
治験・臨床研究の院内業務の負荷を軽減
- ✓ 時間と労力を要するデータ入力作業を切り出し、
作業スピードを向上
- ✓ 場所に制約されず、実施医療機関内と
同等の環境でデータ入力支援を実現

実施
医療機関
が活用

リモート閲覧環境の提供

- ✓ システム導入や自前運用が不要で、
必要な期間・規模だけ利用可能
- ✓ 予算制約のある臨床研究でも導入しやすい
実施医療機関間の移動時間・コストを軽減
- ✓ 複数の実施医療機関のデータをセントラルで
閲覧・入力でき、データ収集を効率化

※リモートデータ入力とは | 医療機関に来院せず、遠隔環境から電子カルテなどの原資料を確認し、症例報告書へのデータ入力を行う方法

お客様の
声



限られた予算と人材を、臨床研究そのものに使える環境になりました。

遠隔地や複数の実施医療機関で進める臨床研究、医師主導治験では、いつも予算や人手の確保に悩まされていました。リモートデータ入力支援を活用するようになってからは、その負担がかなり軽くなり、入力スピードも上がって、解析までの期間も短縮できています。そこで浮いた予算を別の臨床研究にまわせるので、研究者としてとても助かっています。

サービス詳細は
裏面へ

当社CRC が支援

現場の負担を減らし、治験・臨床研究業務の質と円滑さを高める。

リモートデータ入力支援

当社のCRCが、実施医療機関の原資料をリモートで確認し、データ入力業務を支援します。

エリアを問わず

様々な実施医療機関で
導入可能



SPG Remote Medical for
SYNOV-R

EPLink (閲覧室)



当社CRC

「リモートデータ入力」



ココが
ポイント!

リモートデータ入力支援の導入により、院内CRCのリソース不足を補い、症例登録促進や被験者対応に専念できる体制を実現します。CRC確保が難しいエリアの実施医療機関でもCRCの現地採用や常駐なしでEDCへの入力支援が可能となり、少人数で対応することで入力内容や品質のばらつきも抑制できます。

実施 医療機関 が活用

距離の制約を越え、遠隔地や複数の実施医療機関との連携・運用を効率化。

リモート閲覧環境の提供

実施医療機関がSYNOV-Rを利用し、臨床研究や医師主導治験におけるモニタリング、データ入力で活用できます。

共同研究機関



SPG Remote Medical for
SYNOV-R

実施医療機関 (閲覧室)



院内CRC
院内モニター

院内CRCによる
「リモートデータ入力」
院内モニターによる
「リモートモニタリング」



ココが
ポイント!

リモート閲覧環境の提供により、多施設共同研究・医師主導治験におけるデータ入力やモニタリング業務をセントラルで補完できるほか、CRCやモニタリング担当者が、複数の実施医療機関を行き来する際の業務負荷や移動コストを軽減し、さらにモニタリングや入力作業のための場所を各実施医療機関内で確保する必要がありません。



SYNOV-R お問い合わせ ▶ E-mail : sg_synov-r@eps.co.jp

株式会社EPLink

〒102-0085 東京都千代田区六番町2番地19 PMO市ヶ谷
E-mail : info@eps.co.jp



[Service site]